

平成27年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	土木フェスティバル in NAGAOKA	事業経緯	新規	実施体制	実行委員会	担当所属	長岡支所
事業名 (大項目)	専門的知識・技術の普及・伝承に関する事業	分類名 (中項目)	広報・啓発活動支援事業		事業区分	体験活動等	

1. 事業目的

本事業は、産・官・学の優れた土木・防災技術を市民の皆さんに「見て」「ふれて」もらうことを通じて、道路・河川・公園・まちづくりなど次世代に残す社会資本整備の意義、暮らしを支える土木・防災技術への理解を促すとともに、「土木」に対するイメージアップを推進することを目的とする。

2. 事業実施体制

主催：土木フェスティバル実行委員会

国土交通省信濃川河川事務所・湯沢砂防事務所・長岡国道事務所・北陸技術事務所
 ・国営越後丘陵公園事務所、新潟県長岡地域振興局地域整備部、長岡市土木部、
 東日本高速道路(株)長岡管理事務所、(一社)新潟県建設業協会長岡支部、
 (一社)北陸地域づくり協会長岡支所

後援：新潟日報社、朝日新聞新潟総局、読売新聞新潟支局、日本経済新聞社長岡支局、
 毎日新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、長岡新聞社、NHK新潟放送局、BSN新潟放送、
 NST、Tenyテレビ新潟、UX新潟テレビ21、ケーブルテレビのエヌ・シー・ティ、FMながおか80.7、
 長岡技術科学大学、長岡造形大学、長岡工業高等専門学校、(独)都市再生機構、
 (一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部、(一社)日本建設機械施工協会北陸支部

3. 事業概要

日時：平成27年10月4日(日) 9:30～16:00

場所：国営越後丘陵公園 ほか

実施概要：

① 屋内会場「暖の館」
 ・土木事業や防災技術に関するパネル・模型展示

② 屋外会場「緑の千畳敷」

・建設機械の展示・実演
 ・地震・降雨・土石流体験

③ 現場見学会(いずれも越後丘陵公園発着)

・Aコース

大河津分水路～長岡北スマートIC建設現場
 21人参加

・Bコース

刈谷田川ダム～山古志芋川地区砂防地すべり対策事業現場
 14人参加

参加者：7,608人(当日公園来場者数)

4. 事業実施により期待される効果(社会貢献度等)

本事業は土木の日(11月18日)の関連イベントとして開催しており、今回で26回目。土木や防災に関わる地域の産・官・学が連携し平時からの協力体制を育むとともに、体験型のプログラムを主体とすることで、一般の方々が社会資本整備の重要性や防災・減災への意識づけについて実感しやすくなっている。
 また、会場が越後丘陵公園のため家族づれも多く、近年大きな課題となっている「担い手確保」の側面からも効果が期待される。



建設機械の展示・実演



左：降雨体験、上：土石流3D体験